

第71回富山県小学生 火災予防研究発表大会 発表文集

開催日 令和7年11月15日（土）

会 場 富山県教育文化会館ホール

共催 富山県
（一財）日本防火・防災協会
（公財）富山県消防協会
富山県少年女性防火委員会
富山県女性防火クラブ連絡協議会
（株）北日本新聞社
北日本放送（株）
（一社）日本損害保険協会北陸支部

後援 （一財）消防試験研究センター富山県支部
（公社）富山県危険物安全協会連合会
（一財）富山県消防設備保守協会

刊行にあたって

この大会は、秋季全国火災予防運動（11月9日から15日まで）に合わせて開催しているもので、小学生の皆さんの火災予防に関する研究や体験等の発表を通して防火意識の向上を図り、火災のない安全で住みよい地域づくりを推進することを目的としています。

本県は、出火率（人口1万人当たりの出火件数）が平成3年から令和6年まで34年連続で全国最小を達成している、火災の少ない県です。しかしながら、令和6年においても192件の火災が発生しており、18名の方が亡くなっています。これらの火災は、ストーブによるものやたこ足配線、電気機器の誤使用等、私たちの日常生活での不注意が主な原因となっています。

かけがえのない命や財産を火災から守るためには、日頃から火災を起こさないよう意識して生活することが大切であり、少年消防クラブをはじめとする民間防火組織の皆さんのご協力もいただきながら、県民の防火意識の一層の向上に取り組んでいく必要があります。

今回の皆さんの発表を拝聴し、アンケートや取材などを通して調べたことをもとに、地域の火災をなくすにはどうすればよいかを考え、ポスターやチラシを作成して呼びかけを行うなど、熱心に取り組んでくれたことがよくわかりました。皆さんには、今回学んだことを家族や友人、地域の方々に伝えていただき、皆さんの身の回りから火災が起きないように取り組んでいただければと思います。

この文集では、今大会に出場された13校の皆さんの研究発表を紹介しています。先生方におかれましては、今後の少年消防クラブの活動を展開されるにあたり、本誌をぜひ活用していただければ幸いです。

令和7年1月

富山県危機管理局消防課長 野田 安宏

第 7 1 回 富山県小学生火災予防研究発表大会出場者名簿

出場 順	所属 支部	学校名・学年	氏名	演題	賞	ページ
1	魚津	魚津市立星の杜小学校 6 年生	後藤 聡佑 武田 佳登 椎名 太久 稗苗 秀星 高谷 雛 山崎 幹汰	火に弱い？わたしたちを守る木造校舎	努力賞	15
2	富山	富山市立藤ノ木小学校 6 年生	大森 三久 谷川 幸志 小坂 ひな乃 松田 莉央奈 高松 寛斗 村木 愛彩	みんなで叶える安心安全 ～身近な火災リスク～	努力賞	17
3	氷見	氷見市立十二町小学校 6 年生	明石 貫汰 谷 優奈 浦野 義悠 中井 葵	地域の火災をゼロに！ ～十二町地区防火への道～	銅賞	11
4	富山	富山市立岩瀬小学校 6 年生	青木 優奈 寺西 春花 大井 愛月 山本 朔也 五本 和心	岩瀬のことを守り隊！ ～身近に潜む火災のリスクと予防～	努力賞	19
5	黒部	黒部市立たかせ小学校 5 年生 (黒部市少年消防クラブ)	越後 琴葉 永田 正宗 酒井 陽向 南 奏空 常樂 陽愛 森 奏水 中川 桃子	電気火災予防 ～ぼく・わたしたちにできること～	努力賞	21
6	新川	上市町立陽南小学校 4, 5 年生 (陽南小学校少年消防クラブ)	石田 陽丸 島津 凜斗 上田 楓 野村 夏衣里 大塚 知花 増山 稀華 加藤 楓 森井 菜々子 金森 真教 森井 めい 川見 應介 森山 うる 佐伯 歩乃樺	防火でつなぐ 陽南Peaceプロジェクト	銀賞	7
7	富山	富山市立堀川小学校 5 年生 (堀川小学校少年消防クラブ)	宮本 理杜 荒田 環 柿澤 菜々子 畑 結実恵 小林 凜緒	堀川 火の用心プロジェクト	努力賞	23
8	砺波	砺波市立砺波北部小学校 4 年生	今井 咲登 竹田 和可 江村 智誠 網島 蒼 影近 義実 土岐 雪乃 川東 朱里 中嶋 心春 木谷 結太 中村 瑠那 栗谷 和 宮田 梨愛 高橋 瑠花	目指せ！FPD77	銅賞	13
9	高岡	高岡市立二塚小学校 5 年生 (高岡市立二塚小学校少年消防クラブ)	小栗 伎雲 武内 謙志 加藤 大輝 廣野 いちか 河南 花乃 廣野 日向 酒井 楓 宿里 佳奈	指さし確認「よーし！」	金賞	5
10	滑川	滑川市立北加積小学校 6 年生 (北加積小学校少年消防クラブ)	大倉 三智 飛 心琴 川岸 巳閃 波間 雄心 飛 颯月 吉森 美生	火災0のまちづくり 守ろう私たちの北加積校区	努力賞	25
11	南砺	南砺市立福野小学校 4 年生	齊藤 愛菜 増山 市華 信高 奏來 南 智博 本多 さくら 森松 希海	STOP！リチウムイオン電池による火災！ ～南砺市守り隊～	銀賞	9
12	高岡	高岡市立高陵小学校 5 年生 (高岡市立高陵小学校少年消防クラブ)	稲垣 環奈 高畑 結柳 小竹 源真 能村 茜 志水 仁美 細江 孝輔	防ごう！なくそう！火事、火災！ 高陵スーパー火滅隊	特選	3
13	射水	射水市立下村小学校 5 年生	大坪 翼 保東 英玲奈 落合 菜乃佳 村井 莉音 近藤 幸太郎 山上 聡真 島倉 明生 山村 梨緒 藤岡 心那	防災プロジェクト ～住みよい下村へ 防火編～	努力賞	27
		計13校	計94名			

防ごう！なくそう！火事、火災！高陵スーパー火滅隊

高岡市立高陵小学校 5 年 高岡市立高陵小学校少年消防クラブ

稲垣 環奈、小竹 源真、志水 仁美、高畑 結柳、能村 茜、細江 孝輔

全国・高岡市の火災の現状

われら、高陵小学校火滅隊！
高陵の町は、私たちが守る！
高陵小学校区では、絶対に火事をおこさないぞ！
まずは消防署の人たちに、僕たちが住む高岡市、
高陵校区の現状を聞いてみよう！行くぞ！



ぼくたちは、高岡市、高陵小学校区の火災予防について知るために、消防署の人に聞きました。全国では、火事は、年間 37,036 件おきています。平均すると、1 日あたり 101 件、14 分に 1 件起きています。

ぼくたちの住む高岡市に目を向けると、令和 4 年に 38 件、令和 5 年は 35 件、令和 6 年には 55 件も起きています。割合で言えば、令和 4 年から 6.5% も増えています。

どうして、火事は起きてしまうのだろう。原因は何が多いのかな。



全国的に見ると、電気機器や電気配線からの出火が多いそうです。たこ足配線をしない、ほこりをためないなど、電気系統の扱いに気を付けなくてははいけません。

ぼくたちはさらに、高陵校区ならではの注意点はないか調べてみることにしました。

高陵校区の現状

この道、とっても細いね。火事になったら消防車は通れるのかな。

家と家が密集しているから、次々に燃え移りそうで怖いね。

消防士さんがおっしゃるには、風が強い日は、家が密集していると家から家へ火が燃え移る危険性が高まるそうです。

また、年代別の火事の被害者の 75% が高齢者であり、家が密集している高陵校区にもお年寄り、しかも一人暮らしの方がたくさんいることが分かりました。

そうと分かれば、高陵校区を火災から守るために、作戦会議だ！
ぼくたちは、自分たちに何ができるかを話し合いました。

そして、4 つの火滅作戦を実践することになりました。



作戦一 炎の呼吸・交流の型 高齢者の方の命を守れ

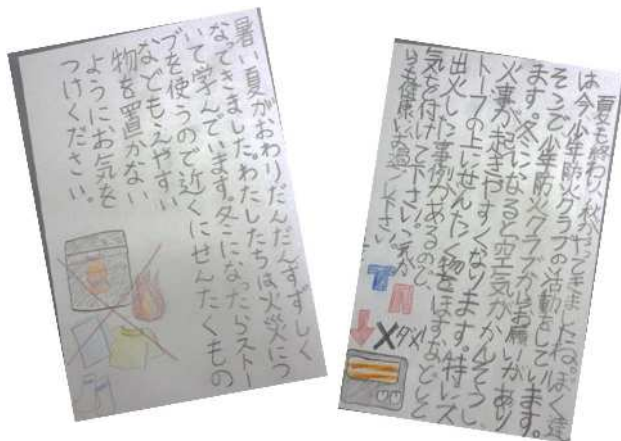


一人でも多くの尊い命を守るため、定塚地域交流センターで、高齢者の方と交流する「ほほえみの会」に参加！

ここでは、火災の恐ろしさと予防法を劇やクイズを交えて発表しました。また、一つ一つ手作りの「火災予防のお守り」を直接お渡ししました。

作戦二 水の呼吸・はがきの型 心を込めたメッセージ！

高陵校区にひとり暮らしの高齢者の方が多い、また、高齢者の方が火災に巻き込まれていることから、高陵校区の米寿の方に火災予防を呼びかける特別なはがきを作成し、送付！
「いつまでもお元気で」という願いと、「火の元に十分ご注意を」という思いを届け、火災予防の意識を高めました。



作戦三 風の呼吸・風鈴の型 危険を察知せよ！



風が強い日は、家から家へ火が燃え移る危険性が高まります。その危険を知らせるため、美しい音色を奏でる「火の用心風鈴」を作成し、高陵校区にある公民館に配布！

風鈴の澄んだ音色は、「風が強いぞ！火の元に気を付けろ！」という火滅隊からのメッセージ。この音を聞くと、火災予防の意識を新にしてほしいです。

作戦四 霞の呼吸・広報の型 次世代を育てよ！



火滅隊の思いを地域全体に広めるために、高陵っ子476名の力を借りました。

まず、校内放送で高陵校区での火災の現状を知ってもらいました。そして、火災予防のポスターに色塗りをし、各家庭の目立つ場所に貼ってもらい、家全体の予防意識の向上を図ろうと取り組み中です。

交流、手紙、風鈴、広報、これら4つの作戦で、高陵校区を火災の脅威から守り続けます。

火災という鬼を滅するためには、高陵校区一人一人の「火の元確認」と「予防の心」が何よりも強力な力となる。
みんなで心を一つに！火の鬼を滅する！

高陵！火滅隊！今日は風が強いぞ。火事が起こらないよう、高陵校区の見回りだ！

指さし確認「よーし！」



高岡市立二塚小学校 5年

高岡市立二塚小学校少年消防クラブ

小栗 伎雲、加藤 大輝、河南 花乃、酒井 楓

武内 謙志、廣野 いちか、廣野 日向、宿里 佳奈

児童の言葉(A～D:演技 1～4:ナレーション)	提示資料
1 あいさつ・オープニング 全：こんにちは。私たちは、高岡市立二塚小学校少年消防クラブです。 ～♪ 消防車のサイレンの音 ♪～ A：あっ、火事だ、火事だよ。 B：音を聞くだけで、不安になるね。 C：どうして、火事が起こるのかな？ D：よし、火事の原因を調べてみよう。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧
2 火事の原因について 1：ぼくたちの活動は、この素朴な疑問から始まりました。 2：調べてみると、このような原因だということが分かりました。 A：「こんろ」や「たばこ」、「電気のコンセントからの発火」というのもありますね。 B：なんか、こうして見てみると、どれも人の「うっかり」で起きているね。 C：ということは、「うっかり」がなくなるよう、人に呼びかけていくのはどう？ D：そうだね！では、さっそく、どんな活動ができるか考えて実行してみよう。	④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧
3 パート1「防火の意識を広める」 1：パート1は、グループに分かれて、「誰に」「何を」「どのように」呼びかけるかを考え、活動しました。 1.2：はい！みなさん、どんな活動ができましたか？ D：はい！まずは、全校のみんなに呼びかけました。校内に新聞を貼って火災の予防を伝えました。 B：私は、小さな子供たちに呼びかけたいと思って、保育園に行ってきました。作った紙芝居も渡しました。 A：学習発表会にいらっしゃった保護者や地域の方にも伝えました。僕たちの考えたことを真剣に聞いてくださり、うれしかったです。	⑤ ⑥ ⑦ ⑧

4 パート2「防火の意識をもちつづける」

3：それぞれに活動したことを話し合っているうちに、火の用心の気持ちを持ち「つづける」ことが、大切なことに気づきました。

4：呼びかけパート2は、「いつも心に火の用心」、「防火の意識をもちつづけよう」です。

3.4：はい！みなさん、どんな活動ができましたか？

C：カレンダーを作って、いつも見られるようにしました。

(資料⑨)

B：ポスターを作って、保育園や公民館にはってもらいました。

(資料⑩)

A：学校みんなには、こんなチェック表を、冷蔵庫など、いつもめにつくところにはってもらいました。

(資料⑪)

D：そして、寝る前や出かける前には、指さし確認をすることを呼びかけました。

3：電車好きのAさんが考えたのが「指さし確認」です。

4：二塚の駅でも、運転士さんが、「よし」と確認しておられました。

3：私たちは、この「指さし確認」を火災予防に使えないか考えたのです。

(資料⑫)

A：こんろ「よーし！」

B：ストーブ「よーし！」

C：コンセント「よーし！」

D：たばこぼいすて「よーし！」

A：ええ？これは「よーし！」ではなく「なーし！」ですね。

4：家の中を「指さし確認」でチェックすると安心できますよ。

5 まとめ

D：火事を防ぐには、日頃の確認が大切なんだね。

(資料⑬)

B：指さし確認をすると、注意する気持ちが強くなるよ。

A：地域に貼ったポスターをいつも見てくれるといいな。

C：火の元 チェック「よーし！」

D：家族で確認「よーし！」

6 エンディング・あいさつ

2：僕たちの二塚小学校は、今年150周年を迎えました。

3：僕たちの住む二塚は、ここ2年は火事が起きていないそうです。

4：これからも、指さし確認で安全な毎日を守るよう頑張っていきます。

1：指さし確認「よーし！」

全：さあ、みなさんもお一緒に。せーの。

(「指さし確認 よーし！」)

3：指さし確認で 火の元ゼロ！

1：みんなで 守ろう

全：ぼくらのまち 二塚！

4：気をつけ 礼

全：ありがとうございました。

⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



防火でつなぐ 陽南 Peace プロジェクト

上市町立陽南小学校4・5年（陽南小学校少年消防クラブ）

石田 陽丸	上田 楓	大塚 知花	加藤 楓	金森 真教
川見 應介	佐伯 歩乃樺	島津 凜斗	野村 夏衣里	増山 稀華
森井 菜々子	森井 めい	森山 うる		

大変！近くの家から煙が出てる！火事だ！
119 に電話して！中に人がいるかも！
おばあちゃん、こっちも火が来るよ！早くにげよう！
足がいたくて動けないの
だれか助けて！



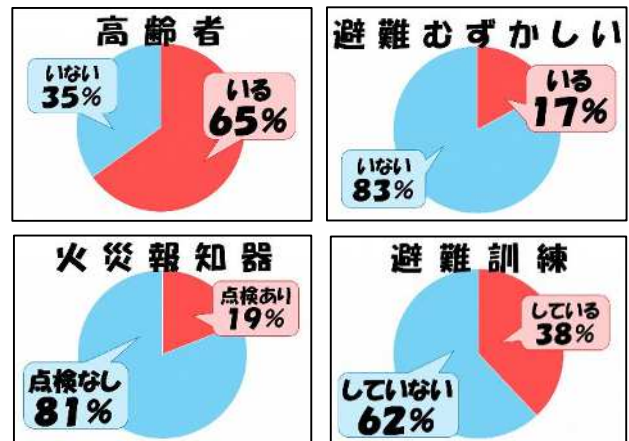
これは、いつ、どこで起こってもおかしくない、火災の場面です。
もし、こんな火災が自分の町で起きたら、あなたはどうしますか？
火災は、いつ、どこで起こるか分かりません。
だからこそ、私たちは、地域の人みんなで防ぐことが大切だと思いました。



地域の人には、どのくらい防火意識があるんだろう？
ぼくたちは、地域の方の防火意識を調べるため、アンケートを作り、校区の全家庭へ配りました。

アンケート結果

たくさんの回答が集まったぞ。
どんな問題点があるのかな？
高齢者の住む家が多いね。
5人に1人が自力で避難できないね。
火災報知器の点検、交換をしていない人も多いね。
避難訓練をしている地区が少ないよ。
火災が起きた時の行動の仕方を知ってほしいな。
現状を知った私たちは、3つのチームに分かれて、
陽南 Peace プロジェクトを始めました。



ポスターBFC チーム

まずは、ポスターBFC チームの活動です。
校区の方の防火意識をもっと高めるためにポスターを作ろうよ。
どこに貼ったらいいかな？
地域の方がたくさん集まる場所や、よく見る場所がいいよ。



公民館はどうか？ 近くのコンビニもいいと思う！多くの人にポスターを見てもらいたいよね。
ポスターを貼りたい場所には、自分たちで電話をして、お願いしました。
これからは、火災に気を付けてもらえるようなポスターに、バージョンアップしていく予定です。

KHK(高齢者・一人暮らし・体が不自由な人)チーム

続いて、KHK チームの活動です。

火災が起きた時、みんなが助かるように、共助の意識を広めたいな。

目の見えない人の体験を試みたけど、すごく怖かった。

避難するときはパニックになるんじゃないかな？

車いすで煙の中を進もうとしたけれど、片手で口をおおっていると、一人で進めなかったよ。

声をかける、手をひく、大人を呼ぶ。小さなことでも救える命があるね。

地域の一員として自分にできることをしていきたいな。

これからは、自分たちが体験して考えたことを、ちらしにまとめ、地域の人に配る予定です。



防火イベントチーム

最後は、防火イベントチームの活動です。

火災の怖さと、防火の大切さを体験で伝えたいな。防火イベントを開催しようよ。

先月、全校児童と長寿会の方々を招待して、防火イベントを開きました。

上市消防署の方にも協力していただきました。

消火体験で、消火器の使い方を知ってもらえたよ。

だれでも消火器を使えるようになるといいな。

煙中体験では、姿勢を低くして逃げることを、みんなに伝えたよ。

地域の人に「煙の中がこんなに見えないとは思わなかった。いい経験ができた」と言ってもらえたよ。

もしも火災が起きた時は、冷静に行動したり、避難したりできるといいな。

これからは、イベントに参加していない人にも避難の仕方を広めていく予定です。



まとめ

取組を通して、火災は、自分だけではなく、地域の人とつながりながら、みんなで防いでいくことが、大切だと感じました。

人とのつながりは、いざというときの強みになります。

私たちは、「火を防ぎ、心をつなぐ」を合言葉に、

これからも行動していきます。

陽南小学校は、今年で閉校します。でも、地域の方々とつながりながら、これからも防火の意識を高めていきたいです。



STOP！リチウムイオン電池による火災～南砺市守り隊～

南砺市立福野小学校4年

齊藤 愛菜 信高 奏来 本多 さくら

増山 市華 南 智博 森松 希海

私たちの地域のごみを処理する施設へ見学に行った時、こんなお願いがありました。

みんな、**ごみの分別のルール**をしっかりとってほしいんだ！モバイルバッテリーの分別ができていないことが原因の火災が増えているんだよ。

モバイルバッテリーには、**リチウムイオン電池**が使われています。

パソコン、タブレット、スマートフォン、コードレス掃除機、携帯扇風機など、たくさんあります。

このグラフを見ると、リチウムイオン電池による火災がすごく増えていることが分かります。

「富山県内でも、リチウムイオン電池が原因でゴミ収集車が燃えたんだって。」

「**分別をすることが、火災を防ぐことにつながる**んだね。」

そこで、私たちは、これらの火災から大切な命や財産を守る、**南砺市守り隊**を結成しました。

自分たちにできることは何かを考え、**①「知る」②「チェック」③「呼びかけ」**の3つに取り組みました。

①知る

「この記事を見て！リチウムイオン電池の分別回収に自治体が力を入れているんだって。」

「**地域ごとにルールが違う**みたいだね。」

「南砺市も4月にルールが変わったみたいだよ！」

また、リチウムイオン電池関連の火災は、**約6割が充電中**です。

衝撃でも火災につながります。

南砺市、砺波市、小矢部市でも、過去4年で5件のリチウムイオン電池に関する火災が発生しています。

私たちができることってどんなことがあるのかな。



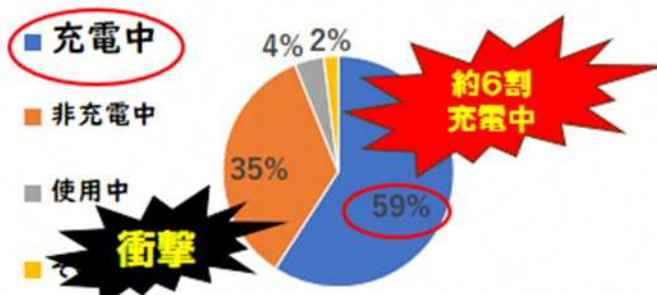
リチウムイオン電池関連火災状況（東京都）



南砺市の分別ルール



住宅火災における火災発生時の出火状況



砺波地域（砺波市・南砺市・小矢部市）

R4 2件
R5 1件
R6 1件
R7 1件

火災発生

火災を防ぐポイント

その① 正しい分別

燃えるゴミやプラスチック製品には絶対に一緒に捨てません。

その② 衝撃をあたえない

強い衝撃をあたえてしまったものは、使用をやめましょう。

その③ 保管場所

車の中等、熱くなる場所に置いておくと、火災が発生することもあるんだよ。

熱くなる場所には、置かないようにしましょう。

その④ PSEマーク

PSE マークがついていると、安全基準を満たしているんだね。

このポイントを知っておくことで、火災ゼロ！



②チェック

リチウムイオン電池に関するアンケートを、全学年の家庭に行いました。

リチウムイオン電池が使われている製品を知っているかは、知らないと答えた人が90%と、とても多いことが分かりました。

しかし、処理の仕方を知っているかでは、知らないと答えた人が67%と多いことが分かりました。

回答の中には、「知らない」や「プラスチック製品として捨てる」と答えた人たちもいました。

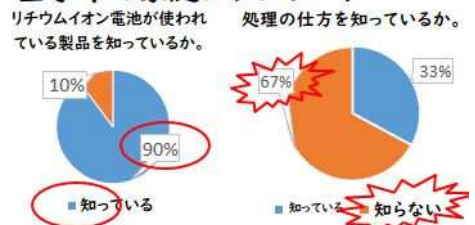
そこで、正しく分別されているのか、製品に PSE マークが付いているか、家族とチェックを行いました。

「私の家では、しっかりごみの分別がされていたよ。」

「この製品には、PSE マークが付いていたよ。」

安全性とごみの捨て方をチェックすることで、火災ゼロ！

全学年の家庭にアンケート



③呼びかけ

リチウムイオン電池のことを知ってもらうために校内、家族、地域に呼びかけました。

ポスター、新聞、ステッカー等をかき、各家庭や地域に配りました。

消防署の方と一緒に、リチウムイオン電池について知ってもらうチラシを入れたティッシュを配りました。

火災の予防を呼びかける声を録音し、消防車で流してもらいました。

福野小学校の4年生です。モバイルバッテリー等、リチウムイオン電池が原因の火災が増えています。正しいごみの分別をして火災を防ぎましょう。



ショッピングセンターでティッシュ配り



その結果、今までリチウムイオン電池による火災について知らなかった人たちにも、知ってもらうことができました。

これからも**①知る②チェック③呼びかけの私たちができることを行い、火災の予防を続けることで、火災ゼロ！**

そして、みんなの命や財産を守っていきたいです。

消防車で声を流す



地域の火災をゼロに！

～十二町地区防火への道～

氷見市立十二町小学校 6年
明石貫汰 浦野義悠 谷優奈 中井葵

はじめに

わたしたちの十二町地区は、氷見の中でも山が多い地域で、多くの高齢者が住んでいます。そのため、山火事や高齢者の逃げ遅れの危険性があります。

覚えていますか。今年2月の大船渡市での山火事。鎮火までに、なんと41日もかかったのです。また、約4600人に避難指示。約3370ヘクタールが消失しました。この広さは、東京ドームおよそ720個分で、氷見市の面積の約8分の1にあたります。



では、氷見市はどのくらい火事が起きているのでしょうか。

昨年度の富山県内の市町村火事発生件数を調べました。

1位 富山市 62件、2位 高岡市 40件、3位はなんと氷見市で15件。

人口の少ない氷見市がなぜ3位なのでしょう。

確かに、氷見市は面積が広い。山や林等の自然が多い。さらに古い家が多い。

でも、「このままでもいいのか氷見!」「自分たちが火事を減らすためにできることはないのか!」と考え、防火プロジェクトに取

富山県内の市町村
火事の発生件数ランキング
(令和6年)

1位 富山市 62件
2位 高岡市 40件
3位 氷見市 15件

り組むことにしました。

プロジェクト① 実態調査アンケート

家に消火器が置いてある家庭は、38パーセント。98%の設置率である火災報知器に比べて消火器の所持率が低いので、もし火事が発生してしまった場合に、初期消火が行えな

い可能性が高いことが分かりました。また、電化製品のコードの片付け方にも様々な取り扱いがされていることが分かりました。コードの取り扱いに問題があると、コードが断線し、ショートの原因になる恐れがあります。

プロジェクト① 実態調査アンケート
消火器は家に置いてありますか。



電化製品のコードはどのように片付けていますか。



プロジェクト② 防火教室リクエスト

消防署の方から氷見市の火事についてのお話を聞いたり、火事が起きやすい季節や時間帯等について、質問したりしました。ペットによる発火等、様々な火災原因があることが分かりました。また、地震や水害が原因の停電から復旧した際に発生する通電火災を起こさないよう、災害時にブレーカーを切ることを学びました。

プロジェクト② 防火教室リクエスト

消防署の方にお話を聞きました



- ・火事が起きやすい季節や時間帯
- ・火の消火方法
- ・しておくべき防火対策
- ・消防団との連携
- ・火事の思わぬ原因

プロジェクト③ 消防団の方へのインタビュー

消防団の方は、別のお仕事があるにもかかわらず消火活動の協力、防火の呼びかけ、防火設備の点検、防火訓練を行っておられます。地域を守っておられることを改めて知ることができました。消防団の方の思いを聞き、感謝の気持ちと防火活動への思いがますます強くなりました。

プロジェクト③ 消防団の方へのインタビュー

火事はすぐ怖いものです。火事が起きないように、小さな事から呼びかけています。



- ・火事の現場での消火活動の協力
- ・防火の呼びかけ
- ・防火設備の点検
- ・消火訓練

プロジェクト④ 高齢者宅訪問での呼びかけ

高齢者の方が多い十二町地区。一人一人のお宅を訪問し、防火を呼びかけました。「火事を防ぐために、火から目を離さないようにしてください」「家に消火器はありますか。大切な命を守るためにも、点検をお願いします」等と声をかけました。わたしたちが作った、消火器や火災報知器の点検を呼びかけるステッカーや、火事から身を守る「じゅうにちょう」の語呂合わせの防火呼びかけポスターを配付しました。高齢者の方一人一人に防火の大切さを直接伝えることができました。

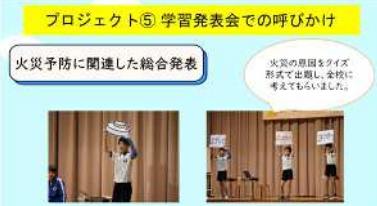


配付した十二町防火呼びかけポスター



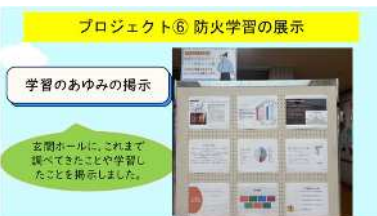
プロジェクト⑤ 学習発表会での呼びかけ

学習発表会で火災予防に関連した総合発表を行いました。火災報知器を設置する大切さを伝えたり、どのようなものが火災原因になるのかをクイズ形式で考えてもらったりしました。多くの人に防火について考えてもらうきっかけをつくることができました。



プロジェクト⑥ 防火学習の展示

これまで調べてきたことや学習したことを掲示しました。また、実態調査アンケートの結果を踏まえ、気付いたことや考えたことも伝えました。子供たちだけでなく、保護者の方にも生活を見直し、火災予防の意識を高めてもらう機会を作ることができました。



プロジェクト⑦ 十二町クリーン作戦

十二町地区のゴミ拾いを全校で行いました。活動後にインタビューしてみると、「たばこの吸い殻が多く落ちていた」という意見が出されました。たばこの火が草木に燃え移ったら大変です。林野火災・山火事の発生防止のため、今後もポイ捨て防止を呼びかけていきます。



令和7年10月現在の火事の発生件数

多くのプロジェクトを行ってきましたが、今年の10月現在の火事の発生件数を調べてみると、1位は富山市の56件・2位は高岡市の23件・氷見市は、14件とまた3位。

それも昨年1年間の件数にあと1件とせまっています。

防火プロジェクトは、これからも続けていかなければならないと感じています。

プロジェクト⑧ 火災防火チェックリスト配付

暖房機器等の使用が増える冬が始まる前に、消防士の方の意見も取り入れた防火チェックリストを配付する予定です。コンセント周辺のはこりや配線等を家族みんなでチェックして、防火に取り組んでもらおうと考えています。

終わりに

これからも「全校児童に」「保護者に」「地域に」防火の呼びかけを続けていきます。

一人一人が防火の意識を高め・地域と協力しながら火災が無い、みんなが笑顔で過ごせる十二町を目指します！



富山県内の市町村
火事の発生件数ランキング
(令和7年10月現在)

1位	富山市	56件
2位	高岡市	23件
3位	氷見市	14件

今後の活動は・・・

プロジェクト⑧ 防火チェックリスト配付

チェック項目例

- コンセント周辺のはこり・配線
- コードの損傷箇所の有無

一人一人が
防火意識を
高める

地域と
協力する

これからも
十二町地区の防火に
取り組んでいきます！

目指せ！FPD77



砺波市立砺波北部小学校 4年

今井咲登 江村智誠 影近義実 川東朱里 木谷結太
栗谷 和 高橋瑠花 竹田和可 綱島 蒼 土岐雪乃
中嶋心春 中村瑠那 宮田梨愛

私たち77人は、「Fire Prevention Doctor」を目指して、たくさん研究してきたよ。研究発表を聞けば、FPDに近づけるはず！

取組1 北部っ子の防火意識を確かめるための実態把握アンケート

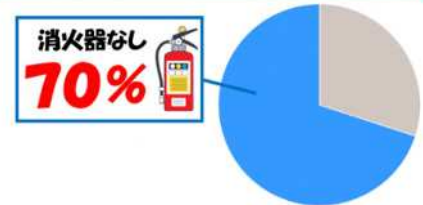
アンケート結果を見ると、北部っ子がとても心配になったよ。

なんと、70%の北部っ子の家庭に消火器がないことが分かったんだ！

火災は家庭でも発生しているから、必ず用意しておいてね。

置くだけではなくて、使い方もマスターしておいてね。

取組み1 実態把握アンケート



そして火災の予防方法を知っている北部っ子も少なかったんだ！

私たちが研究した予防ポイントをしっかりと覚えてね。

【その1 火から目を離さないこと】

当たり前だからこそ、つい忘れてしまうんだ！

お湯が沸くまで時間がかかるからってリビングでくつろいだり、冬の時期、すぐ帰ってくるからってストーブを付けっぱなしにしたりしていないかな？



火災はちょっとした油断が原因！油断禁物！



【その2 燃えやすいものを火の近くに置かないこと】

燃えてしまうと分かっているかもしれないけれど、これも火災原因でとても多いんだ。

コンロの近くに布巾を置いたり、ストーブの近くで洗濯物を乾かししたりしていないかな？



火災はちょっとした油断が原因！油断禁物！

【その3 防火設備を整えておくこと】

多くの北部っ子の家庭には、消火器が置かれていなかったよね。火を初期消火、火災を早期発見するために、消火器や住宅用火災警報器はとても大事なんだ！火災警報器の点検も忘れずにね。いざというときに作動しなかったら意味がないよ。



火災はちょっとした油断が原因！油断禁物！



取組2 防火ポスター・おたよりの作成／防火クイズ／下学年への発表

もっともっと多くの人に防火意識を高めてもらうために、様々な方法で呼びかけたよ。

・防火ポスター・おたよりの作成

防火ポスターを作って、校内に掲示したよ。防火についてのおたよりは、校内だけでなく、地域の公民館や学童施設にも掲示してもらったよ。



・防火クイズの放送／下学年への発表

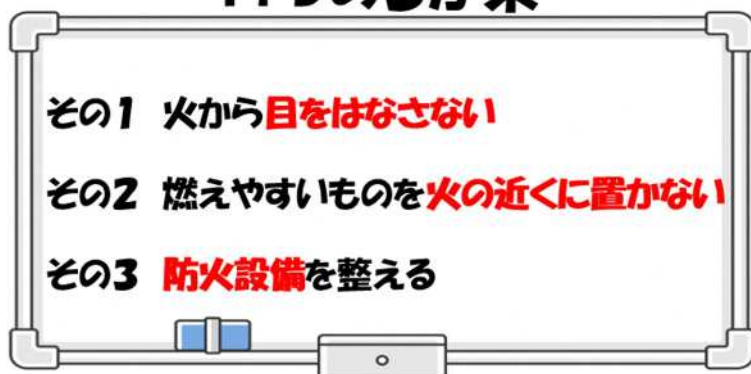
低学年の人に分かりやすく防火方法を伝えるために、簡単なクイズを全校放送したよ。真剣に考えながら答えてくれて、正しい知識を多くの北部っ子に知ってもらうことができたよ。下学年への発表では、もっと詳しく伝えることができたよ。「家に帰ったらおうちの人と話し合いたい」とたくさんの人が言ってくれたよ。



発表したのは、私たちの研究のほんの一部だけど、FPD に近付くことはできたかな？

最後に、みんなで「FPD 3 か条」を確認しよう！

FPDの3か条



私たちの住む砺波市が、これからもずっと安心安全な街でいられるよう、
FPD としてみんなに呼びかけていきます！

火に弱い？わたしたちを守る木造校舎

魚津市立星の杜小学校 6年

後藤 聡佑 椎名 太久 高谷 雛
武田 佳登 稗苗 秀星 山崎 幹汰

消防白書に気になる記事を見つけました。それは、建物火災の37%が木造建築で最多ということです。なぜ、この記事が気になったかというと私たちの学校、魚津市立星の杜小学校は日本初の三階建て木造校舎なのです！

つまり、それだけ火災が起きる可能性が高く、三階建てだから被害も大きくなるということ！「そんな危険な学校に、わたしたちは毎日いるの？」と心配になりました。

そこで、わたしたちは星の杜小学校の火事に対する工夫を調べることにしました。

【工夫①】

消火器や放水ホースは学校のあちこちにありました。これはどの学校にもあるよね！3年生のときに学校にいくつあるか調べたね。でもこれは火事が起きた後に使う物です。これだけではまだまだ不安です。

【工夫②】

防火戸もあちこちにありました。火の侵入を防いでくれます。これも知っていたよ。でも学校の中も外も木でできているから不安はまだあります。校内にある工夫を見つけることはできましたが、まだ安心できません。

星の杜小学校では木育教室という学習をしています。木育教室には設計士さんが毎年来てくださいます。そこで、設計士さんに星の杜小学校の防火対策を聞いてみることにしました。設計士さんからは、星の杜小学校を設計したときの防火のポイントを教えていただきました。

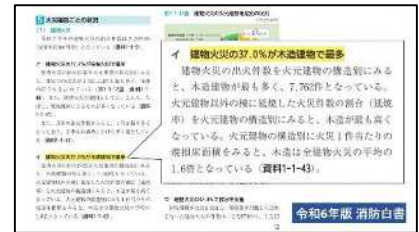
【工夫③】

骨組みの木がほかの木より太くない？まずは木の工夫です。木にはもえしろという部分があり、そこが燃えると炭になるため、中の部分まで燃えず、柱が倒れにくくなっています。

星の杜小学校の柱は太くつくられているので、火事になっても倒れません。

【工夫④】

壁には、水分を含む火に強い石膏ボードが使われています。



【工夫⑤】

火を使う家庭科室、理科室を北校舎に集め、教室は南校舎に集めてあります。その間には壁等と呼ばれる建物があります。



壁等は屋根から回りこむ炎をくいとめるために周りの屋根より少しだけ高く、北校舎より幅が広がっています。まさに炎をストップさせる壁です。

【工夫⑥】

網付き窓もあります。火で割れてもガラスが飛び散らないようなガラスが使われています。



【工夫⑦】

これはひさしといいます。ひさしがあることで、上の階に火が燃え移りにくくなります。



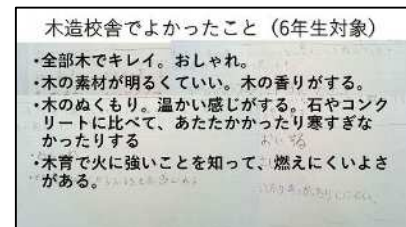
これらをすべて含めて、**1時間準耐火構造**と呼びます。1時間程度、火に耐えることができる設計になっているので、余裕をもって避難することができます。



「火に弱いのでは？」と思っていた星の杜小学校は火に弱くないことが分かりました。火災があっても私たちを守る工夫がたくさんあったのです。設計士さんがたくさんの工夫をしてくださっていたことを知り、とても安心しました。そして、星の杜小学校のことがますます好きになりました。

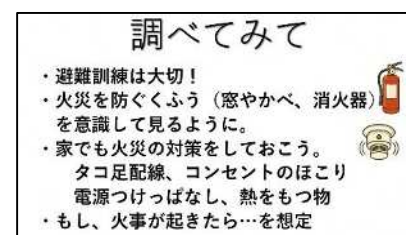
【6年生へアンケート】

6年生に、木造校舎でよかったことをアンケートで聞いてみました。冬は暖かいことや木の温もりを楽しめると感じています。また、木の色合いや模様がリラックスできるといった意見もありました。

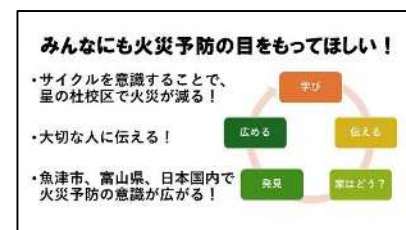


【まとめ】

今回、火災について調べてみて考えたことは、避難訓練の大切さ、火災予防の工夫を意識して見るようにし、家にある火災が発生しそうなものに対策をする必要があること、もし、家で火事が起きたらどうするかということです。火災予防の意識が高まったことに気付きました。そして、星の杜小学校の全校のみんなにも火災予防の目をもってほしいと思うようになりました。そこで、僕たちは全校集会でも発表しました。



ぜひ家族や友達に伝え、火災予防の目で建物を見てください。そうすることで、世の中から少しでも火災を減らすことができるかもしれません。



一緒に火災予防についての目を育て火災のない日本にしていきましょう！！

みんなで叶える安心安全 ～身近な火災リスク～

富山市立藤ノ木小学校・6年
大森三久 小坂ひな乃 高松寛斗
谷川幸志 松田莉央奈 村木愛彩

発表シナリオ	資料										
<p>スマホが大好きな小学生たち、今日は3人で好きなスマホを持って公園でゲームをしています。</p> <p>やばい！スマホの電池が切れそうだ！</p> <p>モバイルバッテリーあるよ！どうぞ！</p> <p>ありがとう！こういうときにモバイルバッテリーってとっても便利だね。</p> <p>うん！こんなこともあるかと、きのう寝ている間に布団の中で充電したから充電満タンのはずだよ！暖かった！</p> <p>でも、大丈夫？最近モバイルバッテリーなどからの発火が多いというニュースを聞くんよ？</p> <p>えー！そうなの！？</p> <p>そこで、私たちは、モバイルバッテリーが原因の火災が増えているニュースをよく目にすることから、モバイルバッテリーと火災の関係に注目して、調べ学習を進めてきました。</p> <p>どのお家にも火災報知器がついているんだよね。</p> <p>私たちは、藤ノ木小学校の6年生の家庭を対象に、アンケートを通じて、火災報知器の動作を確認してもらいました。190軒中、172件の回答を集めました。そのうち、135軒のお家が問題なく作動しました。14軒のお家が電池切れでした。残りの23軒は、故障の可能性や設置されているか分からない、見当たらないという回答でした。</p> <p>故障や電池切れで作動しないと、いざというとき怖いよね</p> <p>その使い方、危険です！</p> <p>え、急に誰？</p> <p>私達は未来から来た未来人「メイメイ」と、いつでもどこでもフルチャージ！モバイルバッテリーの妖精、もばばだよ！</p> <p>特に、モバイルバッテリーが原因の火災が多くて困っているんだ。</p> <p>やっぱりそうなんだ！</p> <p>そう！未来の人々は、ごみからの火事に本当に悩んでいるんだ。そこで！私達は過去の子供達にこうして、「火事をふせぐモバイルバッテリーの使い方」を伝えているよ。</p>	<div> <h2>みんなで叶える安心安全 ～身近な火災リスク～</h2> <p>藤ノ木小6年</p> </div> <div> <p>猛暑で熱暴走、バッテリーに注意 リチウムイオン電池 充電中に 出火、県内多発</p> <p>8/16(土) 5:00 配信</p> <p>北国新聞 THE HOKOKU SHIMBUN</p> <p>●8日、富山中心部で火災</p> <p>モバイルバッテリーなど家電製品に使われるリチウムイオン電池から出火する例が富山県内で相次いでいる。8日夜には富山市内のホテル客室で宿泊者が不在中に充電中のモバイルバッテリーから出火する火災が発生。専門機関は、特に夏は猛暑による熱暴走（熱による異常反応）で、出火する事故が多発する傾向にあるとして、夏のバッテリー「夏バテ」への注意を呼び掛けている。</p> <p>モバイルバッテリーの出火とみられる火災で出動した消防車＝8日午後8時半、富山市宝町</p> </div> <p><6年生の家庭を対象にしたアンケート結果> ご家庭の火災報知器は作動しますか。確認してください。</p> <div> <table border="1"> <caption>火災報知器の作動状況</caption> <thead> <tr> <th>状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボタンを押す（ひもを引く）と音が鳴った</td> <td>78.5%</td> </tr> <tr> <td>電池を交換すると音が鳴った（電池が切れていた）</td> <td>12.8%</td> </tr> <tr> <td>電池を交換しても音が鳴らなかった（故障の可能性ある）</td> <td>9.3%</td> </tr> <tr> <td>火災報知器が設置されていない、見当たらない</td> <td>1.4%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	状況	割合	ボタンを押す（ひもを引く）と音が鳴った	78.5%	電池を交換すると音が鳴った（電池が切れていた）	12.8%	電池を交換しても音が鳴らなかった（故障の可能性ある）	9.3%	火災報知器が設置されていない、見当たらない	1.4%
状況	割合										
ボタンを押す（ひもを引く）と音が鳴った	78.5%										
電池を交換すると音が鳴った（電池が切れていた）	12.8%										
電池を交換しても音が鳴らなかった（故障の可能性ある）	9.3%										
火災報知器が設置されていない、見当たらない	1.4%										

このアンケートを見て！ ピコッ

これは藤ノ木小学校の6年生、約 190 名にアンケートをとった結果です。家にモバイルバッテリーがあるが 81 %、ない家が 19 %。

やっぱりほとんどの家庭にモバイルバッテリーはあるんだね。

ちなみに、そのモバイルバッテリー、何年くらい使ってる？

もう5年以上は使っているかもしれないな。けれど問題なく使えているよ。

古いモバイルバッテリーは危ないんだ？ 気を付けなきゃいけないことは、モバイルバッテリーをどれだけ使っているかということらしいよ。

モバイルバッテリーは2年以上使うのは危険ときいたことがあるから、火災のリスクが高い家庭も多いかも！

モバイルバッテリーを使用して、1 年未満が 15 %、1～2 年は 28 %、3～4 年は 24 %、5 年以上が 13 %という結果でした。

普段、モバイルバッテリーを使用しますかという質問に、年に1回～数回使用する人が最も多く、62 %でした。毎月使う人が20 %、毎週、また毎日使用する人が16 %という結果になりました。

めったに使わないひとが多いけれど、どこかに置いたまま放置していると危険だね。

このように、火災のリスクは私達の身近に潜んでいるんだ。

それならば、どうすればモバイルバッテリーの火災を防ぐことができるのかな？

大きく分けて、ポイントは5つ！
1つ目はモバイルバッテリーは寝ながら充電しないこと！長時間充電すると発火のおそれがあるって、危険だよ！

2つ目！高温環境での使用はなるべく控えること！夏場の車の中や布団の中は特に危険！

3つ目！2年以上使っているものはなるべく早く交換すること！

4つ目！落として強い衝撃を与えた場合や、水に濡れてしまった場合は絶対に充電しないこと！

最後！5つ目！モバイルバッテリーを捨てる場合は家電販売店などにある回収ボックスに入れてね。でも膨らんでいるものは買ったお店やメーカーに相談してね。

富山市には、回収をしてくれるお店があります。市のホームページに協力店の一覧が掲載されています。

この5つのことを守ればいいんだね！

そう！みんなの意識で未来は変えられるよ！

あなたの家は大丈夫ですか？

家にモバイルバッテリーはありますか？

- はい
- いいえ

モバイルバッテリーを使用して何年目ですか？

- 1 年未満
- 1 年～2 年
- 3 年～4 年
- 5 年以上
- 分からない

普段、モバイルバッテリーをどのくらい使用しますか？

- めったに使わない（年に一回程度）
- あまり使わない（年に数回）
- 使う（だいたい毎月）
- よく使う（毎週、毎日）

※富山市HPより

リチウムイオン電池などの小型充電式電池の出し方

リチウムイオン電池などの小型充電式電池が家庭ごみに混入し、（リチウムイオン電池などは、変形・破損すると発火の危険性があります）リチウムイオン電池などは、小型家電製品から取り外し、販売店に設置してある回収ボックスに持ち込んでください。

※製造メーカー等によっては持ち込みできない場合があります。リサイクル協力店について（一般社団法人JBRC）をご確認ください。

リサイクル協力店について（一般社団法人JBRC）

富山市内のリサイクル協力店一覧（令和7年4月16日現在：JBRCホームページより）（PDF 1.4MB）

1 寝ながら充電しない！

2 高温環境での使用は控えよう！

3 古いものはなるべく早く交換する！

4 水濡れや衝撃に注意する！

5 捨てる場合は回収BOXに入れる！

岩瀬のことを守り隊！～身近に潜む火災のリスクと予防～

富山市立岩瀬小学校 6年

青木 優奈 大井 愛月 五本 和心 寺西 春花 山本 朔也

児童の言葉（【】内は資料番号）	提示資料
<ul style="list-style-type: none"> ・気を付け。礼。【①】 ・みなさん、こんにちは。私たちは、富山市立岩瀬小学校の6年生です。【①】 ・私たちの住む岩瀬の町は、伝統的な古い町並みが残っている観光地として有名です。5月には、有名な岩瀬の曳山祭りがあり、私たちも参加する伝統的な地域の宝物です。【②】 ・ところが昔、その山車の一部が、燃えてしまうということがありました。幸い大事には至りませんでした。原因は不明だったそうです。私たちの大切な宝物が燃えてなくなってしまうのはとても悲しく、同じようなことが起きてはいけないと思いました。【③】 ・また、最近では町にある倉庫で火災が発生しこれも原因特定には至りませんでした。私たちの大好きな岩瀬の町でも、火災が起きていることが分かり、火事を起こさないためにはどうしたらよいか考えました。そして、岩瀬の町には次のような火災のリスクがあることに気付きました。【④】 ・1つ目は、『建物の距離』です。岩瀬は住宅密集地域です。これでは火災が発生した時に、延焼のリスクがとても高いと感じました。【⑤】 ・2つ目は、『伝統的なものがたくさんある』ということです。曳山祭りだけではなく、重要文化財である『森家』を始めとした、歴史的な木造建造物や街並みがあり、最近では、外国からの観光客も増えています。これらは燃えやすい建物なのです。【⑥】 ・そこで、岩瀬小学校6年生は、総合的な学習の時間に「岩瀬のことを守り隊」を結成して、岩瀬の町で絶対に火災が起きないようにするためにはどうしたらよいか考え取り組んでいます。【⑥】 	<div data-bbox="845 389 1321 651"> </div> <div data-bbox="845 663 1321 925"> </div> <div data-bbox="845 936 1321 1198"> </div> <div data-bbox="845 1209 1321 1480"> </div> <div data-bbox="845 1491 1321 1753"> </div> <div data-bbox="845 1765 1321 2027"> </div>

・ 私たちが注目したのは、『タバコの不始末』です。登下校をしていると、道にタバコの吸い殻が落ちていることに気が付きました。調べてみると、富山市でも、火災の原因として「たばこの不始末」が毎年上位に挙がっているそうです。【⑦】

・ 実際に、町にどのくらいタバコの吸い殻が落ちているか実際に調べました。調べた場所は岩瀬の観光名所の「大町通り」曳山祭りの山車小屋がある「諏訪神社」「金毘羅神社」、そして、私たちが普段登下校している道です。【⑧】

・ 今回の調査結果では、これだけのタバコの吸い殻が見つかりました。【⑨】

・ 特に多かったのは登下校の道です。観光地である大町通りや山車小屋付近にはタバコのごみは少なく、地域の人や観光客の人が景観美化に努めてくれていることから、ごみが少なかったのではないかと考えました。しかし、祭りが終わった後の神社にはたくさんのたばこが捨てられており、私たちはとても心配です。岩瀬の町で火災を起こさないように、私たちの防火意識をもっともっと高めていきたいと考えました。【⑧（舞台上で指し示しながら）】

・ では、私たちが小学校のみんなと一緒にできることは何でしょうか。6年生のみんなで考え、7月に1～5年生を連れて避難する訓練の計画を立てて実践しました。先生たちに頼るだけではなく、『自分の命は自分で守る』という全校児童の意識を高めたいと思いました。【⑩】

・ 現在は、休み時間中に火災が発生した時の避難訓練の実施準備をしています。火災が発生した際に使えなくなるルートがあるのではないかと考え、下級生とどのように避難したらよいか話し合っています。実際に火災が発生したときの怖さを知ることや、自分の命を守るためにはどのような行動をとる必要があるのを下級生とも一緒に考え、全校の火災予防の意識を高めたいと思っています。【⑩】

・ これからも自分たちにできることを考え、大好きな岩瀬の町を守るためにできることを考え、実践していきたいと思います。【⑪】

・ これで私たちの発表を終わります。気を付け。礼。【⑪】

火災原因別順位		
(令和5年)		
順位	1位	3位
火災原因	たばこ 放火(疑い含む) 各9件	電気機器 7件

富山市消防局 消防年報 令和6年度版より

⑦



⑧



⑨



⑩



⑪

電気火災予防

ぼく・わたしたちにできること

黒部市立たかせ小学校5年生

越後琴葉 酒井陽向 常樂陽愛

中川桃子 永田正宗 南奏空 森奏水

児童の言葉

児童の言葉 気をつけ。これから、黒部市立たかせ小学校の発表「電気火災予防__ぼく・わたしたちにできること」を始めます。礼。

わあ、火が出てる！この火は一体、どこから出ているんだろう？

モバイルバッテリーが爆発して、火が出ているよ！

実は、私たちのメンバーの一人も、モバイルバッテリーが爆発寸前になったことがあるんです。

それがきっかけで、私たちは「火災」について調べてみることにしました。

まず、黒部消防署の岡村さんから、火災の原因についてお話をうかがいました。

火災の原因トップ5は、

たばこ

たき火

こんろ

放火

電気機器、でした。

モバイルバッテリーの爆発は、この「電気機器」の中に含まれます。

さらに調べていくと「電気機器」による火災だけが増加傾向にあることがわかりました。

増えているということは、今以上に注意をしなくちゃいけないことだね。

次に、たかせ小学校の児童全員に火災についてのアンケートをとりました。

ほとんどの人が「火災を知っている」という結果が出た一方で、

「電気火災」を知っている人は、なんと半分しかいませんでした。

多くの人が使う電気機器で起こる火災なのに、知名度が低くていいのかな？

これは僕たち5年生が、みんなに知らせるしかない！

このことから、テーマを「電気火災予防 ぼく・わたしたちにできること」に決めました。

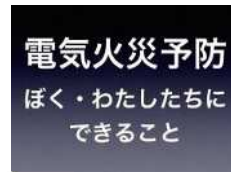
みなさんは「電気火災」ってどんな火災のことか知っていますか？

「電気火災」とは電気製品や配線などが原因で発生する火災のことです。

これは、火を使用している意識がないので、火災に気が付きにくいことが特徴です。

じゃあ、電気火災ってモバイルバッテリー以外にもあるの？

1



2



3



4



5



6



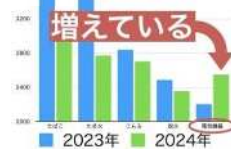
7



8



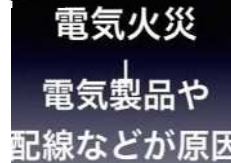
10



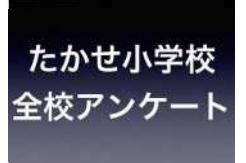
11



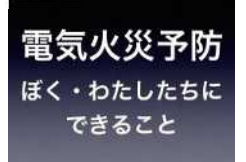
13



9



12



そうなんです！私たちが調べてみました。

電気火災には次のような原因があります。

1、タコ足配線！

一つのコンセントにたくさんのプラグを差すと、電力が集中して発火する危険があります。

2、コードの押しつぶし！

電気を取るためのコードを家具などで押さえつけると、中が壊れて断線し、火災につながります。

3、トラッキング現象！

コンセントとプラグの間にホコリや湿気がたまり、火花が起きて燃える現象です。

4、モバイルバッテリーの爆発！

電池の劣化や高温などが原因で、過熱・発火・爆発することがあります。

モバイルバッテリーが爆発したのは古いものを使っていたからなんだね。

うちにあるモバイルバッテリーも昔に買ったものだけど…安全に使う方法はあるのかな。

はい、それも私たちが調べました！

1、一つのコンセントには一つのプラグしかささないこと！

電力が多くならないようにすることがポイントだね。

2、家具の配置や配線を見直すこと！

重たいソファなどの近くには、コードを出さないようにしましょう。

3、コンセント周りを定期的に掃除すること！

こまめな掃除は火災予防だけではなく、気分もスッキリするよ。

4、モバイルバッテリーを正しく使うこと！

モバイルバッテリーを安全に使うためには「PSEマーク」がついている製品を選ぶことが大切です。

僕も、家中の電気機器をチェックしたよ。

電気火災について調べたり考えたりする中で、私たちは「火災のない暮らし」は特別なことではなく、毎日の心がけから生まれることに気づきました。

「こまめに掃除をする」「コンセントを正しく使う」という小さなことでも、私たち一人ひとりが気をつければ、火災を防ぐことができます。

火災をなくすことは消防士さんだけの仕事ではないと感じました。

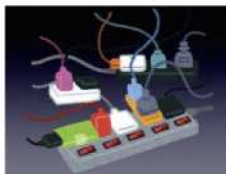
家庭で、学校で、そして地域で。一人ひとりの小さな行動が、みんなの命を守る大きな力になります。

今日からできることを積み重ね、火災のない明るい未来を自分たちの手でつづいていきます。

富山県から全国へ、火災をなくしていきましょう。気

をつけ。これで、黒部市立たかせ小学校の発表を終わります。礼。

14



16



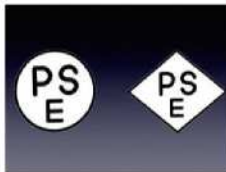
18



20



22



24



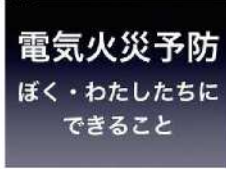
26



28



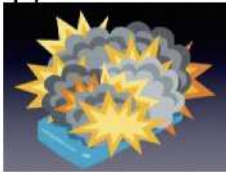
30



15



17



19



21



23



25



27



29



堀川 火の用心プロジェクト

富山市立堀川小学校5年生（堀川小学校少年消防クラブ）

宮本 理杜 柿澤菜々子 小林 凜緒 荒田 環 畑 結実恵

私たちは火災0の堀川のまちを目指そうと
「堀川 火の用心プロジェクト」として、
火災予防に取り組んでいます。

右の表を見てください。

令和4年の富山県の出火率は全国最小の1.48%。

“出火率が少ない今”だからこそ、
油断せずに防火対策をしっかりと続けることが大切です。

「堀川 火の用心プロジェクト」では、
だれに向けて活動を行うかを考え、
家族や自分たち・校内・地域に向けての
3つのグループに分かれて活動しました。

【家族や自分に向けて活動したグループ】

このグループでは、身の回りで火災が起きたときに
少しでも落ち着いて行動できるように、火災時の
避難方法や避難する際に必要なものを調べました。

防火に関する知識をまとめた対策シートや
火災時の通報の仕方を知らせるチラシを配付したりと
自分たちや家族から防災意識を高めるようにしました。

活動する中で、火災予防についてまだまだ知らないことが
多いと感じました。

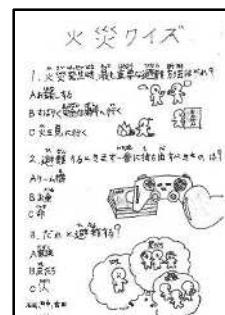
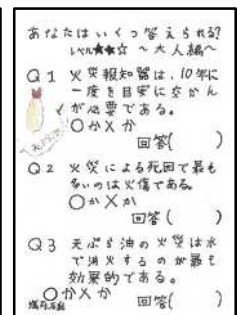
家族に喘息をもつ人がいると、煙が充満する中で
本当に素早く避難ができるのか？と考える仲間もいました。
私たちが考えるべきことはまだまだたくさんありそうです。



出火率（人口1万人当たりの出火件数）

	28年	29年	30年	令和 元年	2年	3年	4年
富山県	1.81	1.71	1.59	1.79	1.63	1.6	1.48
全国	2.88	3.08	2.97	2.96	2.73	2.78	2.88

出典：富山県ホームページ
富山県は出火率が全国で最小ですが・・・



【校内に向けて活動したグループ】

全校で火災予防について考えてもらうため、各学年に合わせた火災予防集会を企画しました。

例えば低学年には

「火事は一瞬にして燃え広がって
しまうこともあるんだよ！」と紹介したり
中学年には、劇やクイズを通して
火災が起きたらどのような行動をとるか考えられるよう

「消火器で消火していたけれど、
火が天井まで！次にするべき行動は何でしょう？」
と伝えることで、みんなで一緒に考える集会を目指しました。

学校で火災を起こさない！そのために、
避難訓練の大切さを伝えたり、
ハンカチをポケットに入れておくことを呼びかけたり、
防火設備をみんなで確認したりなど校内でできることはまだまだありそうです。

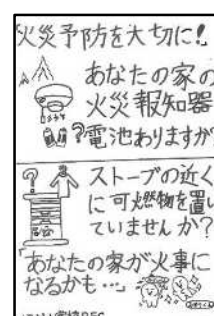


【地域に向けて活動したグループ】

幼稚園児や保育園児に向けた紙芝居を制作しました。
今後、幼稚園や保育園に訪問し、
火災の恐ろしさや火災予防について伝えていくことにしています。

ポスターやチラシも制作し、地域の人に呼びかけを行いました。
なかなか自由に動くことができないお年寄りに向けても
拍子木（ひょうしぎ）を使って
地域を回る練り歩きを行いました。

堀川の町には、赤ちゃんや高齢者、外国の方まで
様々な人が住んでいます。
地域全体への活動に広げ、火災0の街を
みんなでつくっていきたいと思います。



私たち堀川小学校BFCは、堀川に住むすべての人が
安心して暮らせる火災ゼロの街を目指しています。
火災のない明るい富山を築くために、一人ひとりが
防火の輪を広げていけるよう、全力で活動をしていきます。



守ろう私たちの北加積校区～火災0のまちづくり～

滑川市立北加積小学校 6年北加積小学校少年消防クラブ

大倉 三智 川岸 已閃 飛 颯月

飛 心琴 波間 雄心 吉森 美生

児童の言葉	提示資料
<p>これから北加積小学校の研究発表を始めます。気を付け、礼。</p> <p>私たちのまち、北加積校区で火災が発生しました。</p> <p>今年の滑川市では、10月までに9件の火災が起こっています。</p> <p>これは、昨年度よりもすでに3件も増えています。</p> <p>わたしたちのまちを守るためにできることは何があるのかな。</p> <p>調べてみよう！</p> <p>わたしたちは、まず北加積校区の防火意識を調べました。</p> <p>北加積小学校の保護者の方で、防火の意識をもっていたのは88.5%でした。</p> <p>各家庭での防火意識は思ったよりも低いと感じました。</p> <p>それでも、コンセントのほこりを取ったりたこ足配線をしなかったりと防火の工夫をしている人もいました。</p> <p>でも火災が起きた時の避難行動は考えているけれど、実際に火災が起きた時の視界がどれくらい広がっているかはほとんどの人が知りませんでした。</p> <p>アンケートの結果から、火災の現状を伝えてもっと火災意識を高める必要があると考えました。</p> <p>自分たちで守ることも大切だけど、私たちのまちには火災から守ってくれる消防団があります。</p> <p>滑川市にはその消防団があり、消防署の皆さんと一緒に、地域を火災から守ってくれています。</p> <p>私たちの学校のすぐそばにも北加積分団があるんだよね。</p> <p>9月に滑川市で火災が起こったときにも、すぐに出動していました。</p> <p>実際の火災現場を想定した訓練や大会にも取り組み、わたしたちのまちを守ってくれています。</p>	<div data-bbox="975 499 1401 759"> </div> <div data-bbox="868 822 1129 851"> <p>わたしたちのまちを守ろう！</p> </div> <div data-bbox="868 853 1166 992"> </div> <div data-bbox="1209 853 1310 880"> <p>防火意識</p> </div> <div data-bbox="1209 891 1390 976"> <p>北加積小学校保護者の意識 火災に気を付けていますか？ はい…88% いいえ…12%</p> </div> <div data-bbox="1337 837 1533 976"> </div> <div data-bbox="1021 1025 1233 1055"> <p>保護者の防火の工夫</p> </div> <div data-bbox="1021 1068 1350 1178"> <ul style="list-style-type: none"> ・コンセントを元からぬく ・外出前に火の元をチェックする ・電源のタコ足配線をしない ・コンロのまわりに燃えやすいものを置かない </div> <div data-bbox="1321 1176 1370 1200"> <p>など</p> </div> <div data-bbox="863 1214 1147 1431"> </div> <div data-bbox="1169 1258 1326 1288"> <p>煙の中の見え方</p> </div> <div data-bbox="1169 1301 1326 1359"> <p>はい…12% いいえ…88%</p> </div> <div data-bbox="1169 1373 1350 1424"> <p>とても低い！</p> </div> <div data-bbox="1378 1258 1497 1397"> </div> <div data-bbox="975 1469 1160 1503"> <p>滑川市消防団</p> </div> <div data-bbox="975 1509 1305 1536"> <p>・学校のすぐそばにある北加積分団</p> </div> <div data-bbox="1069 1538 1326 1724"> </div> <div data-bbox="1018 1756 1382 1796"> <p>分団対抗実戦操法大会</p> </div> <div data-bbox="1058 1798 1337 1998"> </div>

私たちもみんなの防火の意識を高めるためにできないことはないかな？

そこで、6年生で全校や家庭に呼びかけようと考えました。

呼びかけその1

防火グッズを作成し全校に紹介し、配布しました。

作ったのは「火消しリン」と「北リンチェックシート」です。

「火消しリン」は、火災原因1位のタバコの出火を防ぎます。

家庭で使える灰皿にしたり、火元の近くに掲示したりして防火意識を高めます。

この火消しリンは、火災につながらないように防災紙を使っています。

北リンチェックシートは、家庭での防火意識を高めるために5つの項目をつくり、家庭へ呼びかけて、防火意識を高めるためのものです。

このチェックシートは全校に配布して、各家庭に掲示してもらいました。

呼びかけその2

全校、家庭に広める紹介の場を作りました。

学習発表会で呼びかけ、防火意識を高めようとしてしました。

自分たちの取組だけでなく、地域の取組、消防団の取組を伝え、まちを守るという意識の高まりにつなげました。

自分たちで取り組みや、防火グッズで地域の防火意識を高めることができたと思います。

私はこの学習を通して、火災が起きないためには、自分たちが防火を意識し、普段から気を付けることが大切だと考えました。

これから、火災が起きない安全なまちを目指します。

私たちが暮らす大切なまち、北加積校区

まずは、自分たちにできる火災予防に取り組んでいきましょう。

私たちの取組が、自分の家を、自分たちの地域を火災から守ります。

守ろう私たちのまち北加積校区 目指せ火災0のまちづくり。

これで北加積小学校の発表を終わります。気を付け、礼。

わたしたちができることは なにがあるかな？

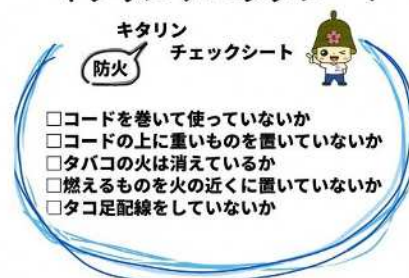


北っ子の取組①防火グッズの作成 火消しリン



- ・防災紙の活用
- ・取り外して注意喚起の掲示物に

北っ子の取組①防火グッズの作成 キタリンチェックシート



北っ子の取組②全校・地域への呼びかけ

学習発表会を通して、家庭・地域への呼びかけ



学習発表会の感想から

・身近な場所で火災が起きていることを知ることができました。他人事だと思わずに、自分事として気を付けていきたいと思いました。




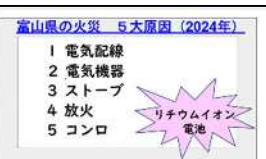

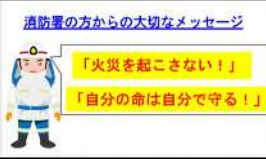
・避難経路を事前に確認するなど、日ごろの備えが大切だと思いました。



防災プロジェクト ～住みよい下村へ 防火編～

射水市立下村小学校5年生（射水市立下村小学校少年消防クラブ）

大坪 翼 落合 菜乃佳 近藤 幸太郎
島倉 明生 藤岡 心那 保東 英玲奈
村井 莉音 山上 聡真 山村 梨緒

	児 童 の 言 葉	掲 示 資 料
動 機	<ul style="list-style-type: none"> ・下村は自然が豊かで、住みやすいところだね。 ・流鏝馬や稚児舞などの伝統的な行事も、現在まで受け継がれているよ。 ・そんな下村ですが ・下村小学校の前には、消防の車がいつも停まっているよね。 ・定期的に消防団の方が、消防車の点検などをしていらっしゃるね。 ・納涼祭には、消防車がいたよね。 ・不思議に思った私たちは、防災の「防火」という視点で学習を進めることにしました。 ・消防署や地域の消防団の方たちから教えてもらいながら、地域のために自分たちができることを追究しました。 	  
2-1 学 習 1	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい情報を知るために、消防署の方に聞いてみよう ・そうだね、お願いしてみよう ・そして、消防署の方に、主に3つのことを教えていただきました。 <p><u>＜1＞消防署の方々は、いろいろな活動をされていました。</u> （◎避難誘導・避難所開設 → 能登半島地震、線状降水帯の大雨）</p> <p><u>＜2＞2024年の富山県の火災の5大原因を教えていただきました。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県で火災が192件、そのうち射水市は13件だったそうだね。 ・みなさん、火災の5大原因は？ <p>①電気配線 ②電気機器 ③ストーブ ④放火 ⑤コンロ</p> <p>○リチウムイオン電池</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくおぼえていましたね ・はい <p><u>＜3＞また、本物の消火器で消火体験をさせていただきました</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな炎でも勢いがとても強かったね。こわかったよね ・でも、消火器の粉の勢いが強かったから、早く消せたよね ・「自分の命は自分で守る」「火事を起こさない」ことが大切だよ ・はい 	   

<div>2-2</div> <div>学 習 2</div>	<p>・次に、地域の防火について、下消防団の方々に、お話を伺いました。</p> <p>・消防団では、主に4つの防火活動を実施していたね。覚えているかな？</p> <p>①防火広報 ②年末警戒 ③下地区納涼祭警戒 ④火災予防週間での活動、消防大会への参加と訓練</p> <p>・よくできました。大切なことは、「油断大敵」「火の元点検」だよ</p> <p>・はい</p> <p>・消防署や消防団の方々から、たくさんのことを学ぶことができました。</p>	<p>下消防団の方からの大切なメッセージ</p> <p>「油断大敵！」 「火の元点検！」</p>
<div>3</div> <div>取 り 組 み</div>	<p>・私たちは、安全で安心な下村にするために、火災の予防方法を伝える3つの活動を行いました。</p> <p><u>＜1＞学習発表会で、劇とスライドを作り、伝えました。</u></p> <p>・世の中には、わたしの好きな原因がたくさんあるなあ、ひっひっひー</p> <p>・みんなで、火災大王を退治して、下村を守ろう</p> <p>①電気配線 →ほこりをためないようにそうじをし、たこ足配線はやめよう！！</p> <p>②電気機器 →古くなった電気機器は、そろそろ交換を！！</p> <p>③ストーブ →ストーブの近くに燃えやすいものは置かない！！</p> <p>④放火 →家の周りにゴミは出しっぱなしにしないで、整理整頓を心がけましょう。</p> <p>⑤コンロ →調理中はコンロから目をはなさない！！</p> <p>○リチウムイオン電池 →スマホ、バッテリー、電池などは、正しい方法で安全に使おう</p> <p>・防災意識の高い、油断のない下村だなあ・・・</p> <p><u>＜2＞「地域へポスターで知らせました。」</u></p> <p>(夏休みにつくった防火ポスターを、下村コミュニティセンターなどに掲示のお願いに行きました。)</p> <p><u>＜3＞チェックリストをつくりました</u></p> <p>(秋の火災予防週間に、全校に配布しました。)</p>	<p>電気配線 「ほこりをためないように掃除をして、たこ足配線はやめよう！」</p> <p>電気機器 「古くなった電気機器はそろそろ交換を！」</p> <p>ストーブ 「ストーブの近くに燃えやすいものは置かない！」</p> <p>放火 「家の周りにゴミは出しっぱなしにしないで、整理整頓を心がけよう！」</p> <p>コンロ 「調理中はコンロから目をはなさない！」</p> <p>リチウムイオン電池 「スマホ、バッテリー、電池などは、正しい方法で安全に使おう！」</p>
<div>4</div> <div>今 後</div>	<p>・この学習を通して、火災はとても怖いけれども、予防ができることを学びました。</p> <p>・これからも、安全で安心な下村でいられるよう、防火について伝えていこう。</p> <p>・おう。</p>	

講 評 等

講 評

(株)北日本新聞社編集局社会部長
川 渕 恭 司

本日出場されました 13 校 94 人のみなさん、元気な発表をありがとうございました。それぞれの発表を聞いて、火災予防や防火意識高揚に向けて多くの学びがありました。緊張したと思いますが、この日のために、学校や家庭で一生懸命に練習した姿が思い浮かび、とても胸が熱くなりました。

まず特選となった高陵小学校は、BFC の服装がすごくかっこよくて、すてきでした。市内の火災件数が 6.5% 増え、被害者の 75% が高齢者などとデータを示し、発表に説得力がありました。一番いいなと思ったのは 5 年生が「スーパー火滅隊」となり、活動するところです。「交流」「手紙」「風鈴」「広報」の四つの作戦で地域を火災から守り、火の元確認と予防の心が大切と訴えました。作戦は大成功でしたね。

次に金賞の二塚小学校は、人の「うっかり」が火災につながる危険性を、指さし確認の大切さとともに大きな声で発表してくれました。学校が 150 周年の節目と聞きまして、防火に取り組む伝統をこれからもずっと守り続けてほしいと願っています。

銀賞の陽南小学校は、防火でつなぐ「陽南ピースプロジェクト」として、地域の高齢者に、防火を呼びかけました。3 月で閉校になるのはさみしいですが、これまでの活動を新しい学校でもぜひ続けてほしいと思います。同じく銀賞の福野小学校は、リチウムイオン電池による火災を取り上げました。市内を回る消防広報車からみなさんの声が流れているようで効果大ですね。北日本新聞の社会面の記事も参考に使っていただき、ありがとうございました。

新聞記者は火災や事故が起きたら、消防の方と同じようにすぐに現場へ飛んでいく仕事です。開会前の先ほど朝 8 時ごろ、富山市婦中町で火災が発生し、記者が現場に急行してウェブ速報用と新聞用の取材をしているところでした。

火災は大切な生命や財産を一瞬にしてなくしてしまう、とても恐ろしいものです。何度も火災の現場に取材に行きましたが、できれば行きたくない取材の一つです。では、なぜその現場に行くかというと、悲しい火災を少しでも減らしたいからです。真っ赤な火が出た写真や出火原因は何だったかと伝える記事を新聞やウェブに書いて、多くの人に知ってもらい、怖いことだけでなく、「私たちも気をつけなきゃ」と思ってもらうためです。記者は毎日、こんなことを考えて取材しています。

今日発表した小学生のみなさんも、実は記者と同じような役割を担っています。自分自身が火の取り扱いに注意することはもちろんですが、発表した内容を家族や地域のおじいちゃん、おばあちゃんにたくさん伝えてください。「火災、大丈夫だね」と指さし確認し、砺波北部小のみなさんが大きな声で「油断禁物」と発表してくれたように、家庭や地域、学校などで積極的に防火の意識を広めてほしいと思います。「小さな消防士」と言われるみなさんが、活動を通して学んだことを多くの人に伝えること、これが何より大切なことです。

1 人 1 人が防火を意識することにより、悲惨な火災を防ぐことができます。小さな心がけで安全で安心な地域にすることができるのです。自分の住む地域から 1 件でも火災を減らせるように、これからの活動に期待しています。

最後に、きょうまで熱心にご指導された先生方、消防関係の方々、また家庭でも、ご家族が温かく見守られたことと思います。お集まりの方々に心から敬意を表しまして、簡単ではありますが、講評とさせていただきます。本日は元気いっぱい発表、ありがとうございました。

審 査 員

(公財)富山県消防協会事務局長

加 藤 弘 樹

富山県教育委員会
教育みらい室小中学校課指導主事

河 崎 泰 子

(株)北日本新聞社
編集局社会部長

川 渕 恭 司

北日本放送(株)
経営管理局経理担当部長

高 田 亮 二

富山県厚生部こども家庭室
こども未来課主任

竹 村 健 亮

富山県女性防火クラブ連絡協議会副会長

道 古 正 子

(一社)日本損害保険協会
富山損保会長

中 田 康 太 朗

富山県危機管理局消防課長

野 田 安 宏

(敬称略・五十音順)

第 71 回 富 山 県 小 学 生
火災予防研究発表大会発表文集

令和 8 年 1 月発行

編集・発行
【富山県危機管理局消防課】